



2019年 日本のうたごえ祭典・京都「手をつなごう～未来(あした)へ」

音楽会 I 「てをつなごう」実行委員会ニュース⑦

テーマ 原発のない社会、いのちの水・琵琶湖を守る

発行 2019 10/22 音楽会 I 実行委員会

～音楽会 I によせて～ 私たち一人ひとりにできることは…

音楽会 I の取り組みを始めて、もう 1 年以上になります。

そもそも今回の「日本のうたごえ祭典」では、琵琶湖—いのちの水—を守りたい！！というテーマが最初にありました。その後、いろいろな話し合いを何度も何度も重ねていき、現在の 3 つのテーマ別の音楽会という企画になりました。

最初にかかげた「原発のない社会、いのちの水・琵琶湖を守る」というテーマにしぼったのが音楽会 I です。歌はいくつも歌ってみて、テーマについてもそれぞれの思いを出しあいながら決めてきました。

そうして決まった、てをつなごう、やってみよう、四季の花のうた、地球星歌、海はふるさと、(合唱組曲「海の軌跡」からの抜粋ですが) 原発下請け労働者、いとし子よ、我が若狭よ、群青、リフレイン、はどれも私たちからのメッセージです。

この京都に滋賀に、この日本に、そしてこの地球上にも、様々な人たちが集まって生きています。その一人一人が大切にされるために、自分では何なのか。今この世の中はけっして理想の世界ではないけれど、少しづつでも前を向いて、誰も犠牲にはならず、誰も苦しめない、そんな世界を私たちも目指していきたいと思っています。

これらの歌をうたおうとたくさんの仲間が集まってきました。年代も様々、地域も様々、普段の生活も様々、老若男女が勢ぞろいです。私たち歌い手の一人一人も自分にできることが何なのか、を歌いながら考えていきます。

みなさまも、ぜひこの音楽会の歌と私たちの姿を観て聴いて、そして自分自身にも問いかけてみてください。(Ku)

聴き手、広げよ！地元京都奮闘中！

音楽会 I 地元の歌い手は、467 人(うち子どもは 179 人)。世代を超えた素敵なステージに間違いなくなる！！

京都で 10 年ぶりの全国祭典。京都の人に、そして自分の身近な人に想いを伝えられるのは、何度もあるわけではない！！

《うたい手がチケットの広げ手に》と最後の頑張りです。エンジンかかっています！

- ♪日うた初体験の団員、ドキドキしながら声掛けして、5 枚
- ♪参加の決まった宇治市少年少女合唱団保護者がチケット購入
- ♪子どもの出演が確定し、パパ、ママ、じいちゃん、ばあちゃんに声掛け
- ♪うたごえ運動も初体験の方、娘さんに「平和のメッセージ伝える祭典」と訴え。すると娘さんが友人にも。合わせてチケット 3 枚購入
- ♪職場で思いきって話してみたら、「あんたが出るのなら行く、行く」と。声かけることほんとに大事 などなど

確かに、毎週の入金額が増えてきていること、組織事務局も実感しています。それでも、「まだまだ」と背中を押され、みなさん、毎日声掛けに奮闘中です。(Ki)

一緒に歌います～地球星歌・群青・リフレイン 創立 40 周年の宇治市少年少女合唱団

1979 年「国際児童年」記念事業の一つとして、京都府宇治市で創立。小学生・中学生で構成、卒団生は 400 人にもものぼります。宇治市内での敬老会やミュージックフェスティバルなどの活動に加え、京都こども合唱祭、全日本少年少女合唱祭等にも積極的に取り組み、全国の歌の好きな仲間たちとの交流を深めておられます。音楽会 I には、50 人で参加して下さいます。

**音楽会 I 第3回合同練習会～熱い練習
34 団体 142 名(子どもたち 30 名)
大阪から衛都連合唱団も！**

チケット
9 枚

ダンス指導のメグリンさんも参加。「うたとダンス、大いに楽しもうね」の言葉に子どもたちもノリノリ。元気いっぱいのおうたごえ、ダンスに大人から大きな拍手が起きました。

今回で音楽会 I の合同練習会は最後となりました。音楽リーダーから一曲ごとに、その曲が創られた経過やひと言ひと言の歌詞に託されたおもしろい、本番指揮者とその曲との関わりなど、熱く、ていねいに語られました。そのお話が、歌い手にしっかり伝わり「合唱に変化が生まれる」濃い練習でした。そして「暗譜の大切さと意味～字ずらを覚えるのではなく、歌詞を熟読し、その歌詞のなかみを自分のものにしていく」「祭典まで 40 日、あらためて音楽会 I のテーマ『原発のない社会、いのちの水・琵琶湖を守る』を出発点に、『私はなにを伝えるのか』を大事にしよう」と強調されました。

『チケット広め』の訴えもあり、今日の練習会では 9 枚が売れました。



おとなも子どもも、やる気まんまん

くりくま保育園で 2 回目の練習会、5 家族中 4 家族と先生 2 人が参加されました。お母さん方からは「家で動画を見ながら踊っている。この歌を大好きになりました！」と嬉しいお話でした。

その言葉通り、子どもたちもお母さんも前の練習よりも随分と上手になっておられました！

「やってみよう」ダンスでは、少し難しいステップ部分はくりくまバージョンに変えたり、最後の自由に踊る部分も相談しながら完成させました。保育園ホールの舞台上で踊り、大人も子どももやる気満々で練習会を終了しました。本番が楽しみです。(Ya)

**若狭の原発群とびわ湖はずか 30Km!
～近畿の水がめびわ湖をまもる～**

滋賀の話になると「ああ、びわ湖の…」と反応されます。そのびわ湖は、太古の昔から近畿の水がめで、とても貴重な存在でした。近江では、米作りや鯉や鮒を獲るだけでなく、生活のすべてが、びわ湖に依存したものでした。そのびわ湖は、過去に危機的な状況になりました。

1970 年代に起こったびわ湖の水質汚染です。合成洗剤によって「淡水赤潮」が発生し、生態系を変える危機的な状況でした。幸い、この水質汚染は「粉せっけん」運動等に代表される琵琶湖を守る活動で、現在は一応事なきを得ています。

しかし、若狭湾の原発はどうでしょう。原発とびわ湖はずか 30Km しか離れておらず、ひとたび福島原発事故のようになれば、湖面のうち最大で 20% 程度が汚染されると言います。たちまち近畿全体に及ぼす影響は避けられません。しかも事故によって、合成洗剤とは違い、二度と元には戻れない水質汚染となります。一刻も早く、原発稼働中止と廃棄を実現したいものです。(1)

【11 月の練習練習会】…ぜひご参加ください

- 2 日(土) 全体合同通し練習／大津市民会館／10:15～12:30
- 5 日(火) ひまわり合唱団／西陣小ホール／19～21／参加者の希望にそって音楽会 I 曲
- 7 日(木) おれんじファミリー／たかつかさ保育園／20～21／やって+ダンス・てを・地球星歌
- 10 日(日) びわこの風／晴嵐市民センター／13～ てを・地球星歌・四季の花のうた 他
- 16 日(土) 北部うた連／あやべ協立コミュニティホール／14～16:30 地球星歌・四季の花・海ふる・海軌跡
- 17 日(日) みなみ風／右京ふれあい文化リハ室／午前・午後／音楽会 I 全曲
- 21 日(木) おれんじファミリー／たかつかさ保育園／20～21／やって+ダンス・てを・地球星歌
- 24 日(日) びわこの風／晴嵐市民センター／13～ てを・地球星歌・四季の花のうた 他
- 26 日(火) 北部うた連／福知山篠尾集会所／19:30～21:30 地球星歌・四季の花・海ふる・海軌跡